



東北黒沢建設工業 株式会社

- ▶ 本 社 所 在 地／宮城県仙台市若林区卸町東4丁目4番28号
- ▶ 主な事業内容／職別工業
- ▶ 従 業 員 数／84名

健康経営優良法人認定／2021～2023認定
(2023はブライツ500)



➡ 健康経営に取り組むきっかけ

当社が健康経営を導入したきっかけは、社内風土の改善が第一歩です。同時に、若手雇用を促進したいという狙いもありました。業界全体のイメージ向上も求められ、50～60代が非常に多い中、若い人材を呼び込み、業界に新しい息吹をもたらすことを目指しています。

加えて、業界イメージの向上を図り、良い環境づくりを通じて若い世代を引き寄せたいと考えています。これには、会社の労務環境を整えることが不可欠です。単なる現場の視点だけでなく、PCと連動した業務や新しい業態の導入を進め、変化する業界の魅力をアピールしていく方針です。

➡ 注力している取り組み

当社の健康経営の具体的な取り組みは、女性の活躍推進として、セクハラやモラハラ対策を積極的に行い、女性が働きやすい環境を整えました。



運動の促進では、衛生委員会メンバーによる歩数アップチャレンジ（宮城県が実施）やラジオ体操、ソフトボールチームの結成など、様々なスポーツ

活動を導入し、従業員の運動習慣形成をサポートしています。

コミュニケーションの促進には、社内間の交流が少ない状況のため、積極的な交流イベントを実施しています。

芋煮会や牡蠣食べ会、毎月第4土曜日の外部講師によるミニライブなど、様々なイベントを通じて社員同士のコミュニケーションを図っています。

他にも、社内で野菜を育て、社員に配布したり、バーベキューイベントなども通して交流の場を提供しています。



➡ 取り組みの課題

当社の健康経営の取り組みにおいて、まず、社内全体への浸透が難しいと感じています。この問題に対処するために、全体会議や社内SNSを活用し、健康経営の取り組みを積極的に発信し、社内に浸透させることが必要だと考えています。特に歩数アップチャレンジについては、衛生委員会を中心に取り組んでいるため、これを社内全体で広げていく計画を進めていきたいです。

また、メンタルヘルスに関しては、産業医への相談などの対策は進んでいますが、ストレスチェックについては課題感があるため、ストレスチェックの改善に向けて取り組んでいく予定です。

➡ 取り組みの効果

セクハラやモラハラ対策では相談窓口を女性に配置することで、従業員が気軽に相談しやすい環境が構築されました。これにより、セクハラやモラハラに対する問題を早期に解決でき、従業員の心の健康をサポートしています。

また、健康診断の受診率向上のために、年に2回の実施を固定日に行っており、全員が受診しやすい環境を整えています。この取り組みにより、受診率は100%に達し、全従業員の健康状態を把握し、早期の健康管理が可能になっています。

➡ 今後の展望をお聞きました！

健康経営の今後の展望として、現在取り組んでいる健康経営の通知が従業員に対して見過ごされていることがあるため、実践に向けてどのように推進や促進を行っていくかを検討していきたいと考えています。また、営業部門や経理部門などで衛生委員会を構成しているものの、本業の合間に健康経営が深く浸透するのは難しいと実感しています。

従業員全体が健康経営に積極的に関与しやすい状況を築き、健康経営の本格的かつ持続的な展開を目指しています。



代表取締役社長 佐藤 龍哉氏